



アデコ 2012 年は堅実に利益を確保

- 堅調な営業キャッシュフロー、期末配当案は一株あたり 1.80 スイスフランを維持

[2013 年 3 月 13 日 スイス、チューリッヒ]

2012 年度ハイライト(前年度比)

- **売上高** 205 億ユーロ、前年同等 (M&A や為替変動の影響を除き 4%減)
- **粗利率** 着実に増加し、前年比で 50bps 増の 17.9%
(M&A や為替変動の影響を除き 30bps 増)
- **販売管理費** M&A や為替変動の影響を除く、前年比で 1%減
(8800 万ユーロの事業再編費用および事業統合費用を除く)
- **EBITA 利益** 8 億 1300 万ユーロ(事業再編費用および事業統合費用を除く)
- **EBITA 利益率** 売上減少の状況下でも 10bps 減の 4.0%
(事業再編費用および事業統合費用を除く前年比)
- **当期純利益** 3 億 7700 万ユーロ
- **営業キャッシュフロー**は堅調に推移し、**10%増の 5 億 7900 万ユーロ**(2011 年は 5 億 2400 万ユーロ)
- **2012 年度の期末配当案は 2011 年度と同額の一株あたり 1.80 スイスフラン**
- **配当ポリシーを、一時的に配当性向が 40-50%を超えても、少なくとも昨年と同等の配当額をコミットする内容に改訂**
- **中期戦略の EBITA 利益率 5.5%以上は 2015 年に達成見込み**

2012 年度 第 4 四半期ハイライト(前年同期比)

- **売上高** 前年同期比で 3%減の 50 億ユーロ (M&A や為替変動の影響を除き 6%減)
- **粗利率** 前四半期比で 10bps 減の 17.8%
- **販売管理費** M&A や為替変動の影響、事業再編費用および事業統合費用を除く
前年同期比で 3%減 (第 3 四半期比で 1%減)
- **EBITA 利益** 1 億 9400 万ユーロ(事業再編費用 4600 万ユーロを除く)
- **EBITA 利益率** 事業再編費用および事業統合費用を除く、前年同期比で 50bps 減の 3.9%

2012 年度の主な数値

単位: 100 万ユーロ	12 年度 報告数値	12 年第 4 四半期 報告数値	12 年度 M&A や為替変動の 影響を除いた成長率	12 年第 4 四半期 M&A や為替変動の 影響を除いた成長率
売上高	20,536	5,027	-3%	-5%
売上総利益	3,674	894	-1%	-6%
EBITA(金利支払い前・税引き 前・営業権償却前利益)	813	194	-6%	-17%
EBITA(金利支払い、税引き、 営業権償却前利益)	725	148	-14%	-33%
営業利益	673	136	-	-
当期純利益	377	35	-	-

人材サービスのグローバルリーダーであるアデコグループ(本社:スイス)は本日、2012 年度第 4 四半期ならびに 2012 年度の決算発表を行いました。2012 年の売上高は M&A や為替変動の影響を除き 4%減の 205 億ユーロとなりました。粗利率は増加し、M&A と為替変動の影響を除き 30bps 増、昨年比で 50bps 増の 17.9%となりました。販売管理費は厳格なコスト管理により、M&A と為替変動の影響、事業再編費用と事業統合費用を除き、1%減となりました。減収に対する抵抗力を発揮し、事業再編費用と事業統合費用を除き、2012 年度アデコは、2011 年よりもわずか 10bps

減の4.0%の営業利益率を達成しました。営業キャッシュフローは2011年よりも10%増加し、5億7900万ユーロとなりました。健全なバランスシートにより、取締役会は2012年度の期末配当案として、2011年度と同額の一株あたり1.80スイスフランを提示。経営陣は、中期戦略のEBITA利益率5.5%以上を2015年に達成することを見込んでいます。

以下はCEO、パトリック・デ・メスネールのコメントです。

「2012年度は、地域別に異なる傾向が見られました。ほとんどのヨーロッパの地域においては厳しい状況となり、フランス、イタリア、イベリアの売上は2桁減少となりました。一方、イギリスとアイルランドは為替変動の影響を除き6%の売上増となり、また、ドイツとオーストリアにおいてはマーケットシェアを拡大し、買収と為替変動の影響を除いた売上は1%増となりました。北米では通年で有機的成長が続き、堅調な結果となりました。さらに、新興市場においても2桁成長が続きました。プライシングと、収益性の高いビジネスラインと一定の地域に偏重しない営業展開が貢献し、2012年度の粗利率は増加しました。

粗利率の増加とともに、継続したコスト管理により、事業再編費用と事業統合費用前で、前年比でわずか10bps減のEBITA利益率4.0%を達成しました。2012年度の営業キャッシュフローは10%増となり、非常に健全なバランスシートを維持しています。2012年度の期末配当案は、堅調な営業キャッシュフローと有機的成長への集中と健全な財務状況を反映しています。その結果、アデコは今後少なくとも昨年と同等の配当額を支払うことをコミットしました。私たちは引き続き、中期計画のEBITA利益率5.5%を達成することに注力します。堅実に進めている6つの事業戦略と、好調な市場状況が2013年末まで続くことで、2015年度にEBITA利益率5.5%を達成できることを確信しています。」

日本の状況

売上は、為替変動の影響を除き5%減の3億6100万ユーロとなりました。2012年初旬に数件のアウトソーシング案件が終了した影響により、買収や為替変動の影響を除く売上高は15%減となりましたが、利益率は強固です。EBITAは2000万ユーロ、EBITA利益率は2011年第4四半期比で10bps減の5.5%となりました。VSNは2012年第4四半期にEBITA利益率に50bps上乗せすることに貢献しました。